

申請書の編集：【エコ畜事業】環境負荷軽減型持続的生産支援 【エコ畜事業】協議会経由－①参加申込_BCD
(温室効果ガスの排出削減)

申請内容

作付状況 (Step1)

実施計画 (Step 2)

実施計画 (Step3)

確認 (Step 4)

- 9. 飼料の作付情報
 - 自己所有地 …… 20ページ
 - 自己所有地 …… 22ページ
 - 契約栽培地 …… 24ページ

9. 取組共通 飼料作物の作付状況

●●作付情報●●

作付情報は、＜方法1＞及び＜方法2＞で入力することが可能です。

＜方法1：直接入力＞

下表に直接入力してください。

原則＜方法2＞で入力

＜方法2：ファイルをアップロード＞

①あらかじめ必要事項を入力したExcelファイルのアップロード方式による入力が可能です。

アップロードファイルのマニュアルに定められた様式のExcelファイルを使用してください。

（ファイル名、シート名、セルの順番を変えないでください）

②契約栽培地契約栽培地については、最初の項目が選択形式になっていますので、表に直接入力してください。

取組BCD作付状況

 ファイルをアップロード またはファイルをドロップ

＜注意事項＞

「自己所有地等」と「契約栽培地」は、入力する表が別になっていますのでご注意ください。

<方法2>あらかじめアップロード用Excelファイルにデータを入力し、アップロードする。

〔アップロードファイルの作成方法は、アップロードファイル様式の記載例を参照〕

9. 取組共通 飼料作物の作付状況

●●作付情報●●

作付情報は、<方法1>及び<方法2>で入力することが可能です。

<方法1：直接入力>

下表に直接入力してください。

<方法2：ファイルをアップロード>

①住所及び面積については、ファイルのアップロード方式による入力が可能です。

・アップロードするExcelファイルは、マニュアルに定められた様式のExcelファイルを使用してください。

(ファイル名、シート名、セルの順番を変えないでください。)

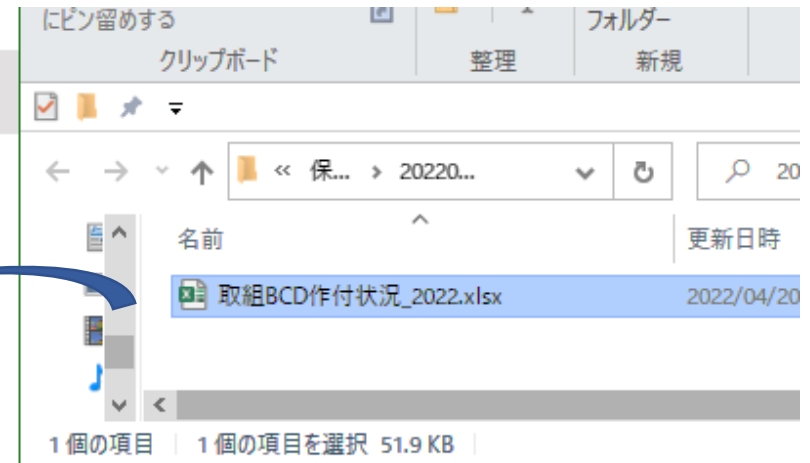
②飼料作物の種類、有機飼料生産の有無、確認書類の名称については、選択形式になっていますので、表に直接入力してください。

取組BCD作付状況

↑ ファイルをアップロード またはファイルをドロップ

<注意事項>

注意！ 繰り返しアップロードすると同じデータが重複して入力されます。
アップロードし直す場合は、表の全ての行を削除してから行ってください。



編集	保存	①住所(字、小字、番地)	②飼料作物の種類(1作目)	③作物名(1作目)	④飼料作物
+	-	1	〇〇市〇〇町〇〇1番地1	デントコーン等	青刈りととうもろこし
+	-	2	〇〇市〇〇町〇〇1番地2	デントコーン等	子実とうもろこし
+	-	3	デントコーン等	青刈りととうもろこし	単年生

表にデータが反映されたことを確認

ア) 自己所有地等における飼料作物の作付状況（取組B、C、D共通）

・・・ア) 自己所有地等における飼料作物の栽培

自己所有地等とは、以下の4つです。

基本的に自ら作業を行う農地であり、選択した取組を実施する農地です。

①自らが所有する農地又は採草放牧地

②利用権（※）が設定された農地又は採草放牧地（採草放牧地として占用許可を受けた河川敷地を含む。）

（※農業上の利用を目的とする賃借権若しくは使用貸借による権利又は農業経営の委託を受けることにより取得される使用及び収益を目的とする権利をいう。）

③その他、賃借契約書に目的、受託面積、貸借当事者が明記されている飼料作物の作付地として公的機関等の証明のあるもの

④委託を受けて農作業を行うことを約した契約のある農地又は採草放牧地

<注意事項>

作付地ごとに入力した後、各行の保存ボタン（鉛筆マークの右側）を押してください。

複数の作付地を入力する場合は、行ごとに保存ボタンを押した後、「+」ボタンを押して行を追加してください。

取組C（有機飼料の生産）に取り組む場合は、表中の⑧有機飼料の生産で、「有機」を選択してください。

・アップロードした場合は、保存不要
・直接入力した場合やアップロードした後に修正した場合は保存が必要

有機飼料の取組を行う作付地
は、「有機」を選択

編集 保存		①住所（字、小字、番地）	②飼料作物の種類（1作目）	③作物名（1作目）	④飼料作物
+	-	必須	必須	必須	必須
1					

全1件中 1~1 件を表示中

1ページあたりの表示件数: 5

自己所有地の面積が自動計算されるため、間違いないか確認する。

自己所有地等の面積（取組共通）

0 アール

自己所有地等の2作目面積（取組共通）

0

自己所有地等作付延べ面積（取組共通）

0 アール



自己所有地等の面積（取組共通）

①

1,460

アール

自己所有地等の2作目面積（取組共通）

②

120

自己所有地等作付延べ面積（取組共通）

③

1,580

アール

- ①**自己所有地等の面積**：取組B（スラリーの土中施用、草地のピンポイント更新）で利用
- ②**自己所有地等の2作目面積**：二期作や裏作の面積。基準面積に算入されます。
- ③**自己所有地等作付延べ面積**（①＋②）：取組B（肥料削減、農薬削減、不耕起栽培、消化液の利用等）で利用

イ) 契約栽培地における飼料作物の作付状況（取組B、C、D共通）

●耕種農家等との契約書の確認

耕種農家又はコントラクター等の飼料作付けに係る契約書には、以下の事項が記載されている必要があります。

- ①耕種農家等又はコントラクター等が作付けを行う飼料作付け面積
- ②酪農経営者等は耕種農家等又はコントラクター等が行う役務若しくは生産された飼料作物に対する対価を支払うこと

<注意事項>

契約栽培がない場合は、表中の「①契約書確認」の項目で、「契約栽培なし」を選択の上、各行の保存ボタン（鉛筆マークの右）を押してください。

契約栽培を申請する場合は、作付地ごとに入力した後、各行の保存ボタンをおしてください。

複数の作付地を入力する場合は、行ごとに保存ボタンを押した後、「+」ボタンを押して行を追加してください。

取組C（有機飼料の生産）に取り組む場合は、表中の⑩有機飼料の生産で、「有機」を選択してください。

契約栽培がない場合は、
1行目だけこの作業を行う

有機飼料の取組を行う作付地
は「有機」を選択

アップロード対象外の項目

Q このリストを検索...

	編集	保存	①契約書	②契約相手の氏名	③住所（字、小字、番地）	④飼料作物
+	-		<div>必須</div> <div>選択してください</div> <div> 契約栽培なし 契約書あり </div>	畜産 次郎		デントコ
+	-		<div>必須</div> <div>選択してください</div> <div> 契約書あり </div>	畜産 次郎	〇〇市〇〇町〇〇5番地1	デントコ

契約栽培地の情報を入力した行
は、全てこの作業を行う



処理終了
一覧の保存が完了しました。

入力例（契約栽培）

例：契約栽培をしない場合

編集 保存 ①契約書確認 ②契約相手の氏名 ③住所（字、小字、番地） ④飼料作物

必須 必須 必須 必須

1 契約栽培なし

リストから
選択

1行のみこの作業を行う

②以降の項目は入力しない

例：契約栽培をする場合

編集 保存 ①契約書確認 ②契約相手の氏名 ③住所（字、小字、番地） ④飼料作物

必須 必須 必須 必須

1 契約書あり

選択

契約栽培地を入力した全ての行についてこの作業を行う

②以降の項目はアップロードファイルから反映される

契約栽培地の面積が自動計算されるため、間違いないか確認する。

契約栽培地の面積（取組共通）

④

60 アール

契約栽培 2 作目面積（取組共通）

⑤

0 アール

「作付土地の面積」及び「飼料作物作付延べ面積」が自動計算されるため、間違いないか確認する。

作付土地の面積（取組共通）

必須

1,520 アール

飼料作物作付延べ面積（取組共通）

必須

1640 アール

①自己所有地等の面積（例：1,460アール）
+ ④契約栽培地の面積（例：60アール）

③自己所有地等の作付延べ面積（例：1,580アール）
+ ④契約栽培地の面積（例：60アール）
+ ⑤契約栽培 2 作目面積（例：0 アール）

基準面積の確認に利用

◆◆実施計画（Step2）へ進んでください◆◆

取組Bの実施の有無を選択する。

申請内容

作付状況 (Step1)

実施計画 (Step 2)

実施計画 (Step3)

確認 (Step 4)

取組Bを実施する場合は、以下の実施計画を記入してください。

取組Bを実施しない場合は、"実施しない"を選択した上で、実施計画 (Step 3) へ進んでください。

取組Bの実施

必須

☒ 実施する☐ 実施しない

選択したメニューの取り組み内容の入力に進む。

10. 実施計画

【取組B】実施計画

選択した取組の実施計画を記載してください。

「申請内容」で選択✓した2つ取組について
実施計画を入力

<基本取組>

- ① 放牧の実施 …… 28ページ
- ② 飼料作物の不耕起栽培 …… 30ページ
- ③ 消化液の利用 …… 34ページ
- ④ 化学肥料の削減 …… 35ページ

<特認取組>（酪農経営者のみ）

- ① 国産副産物の利用 …… 38ページ
- ② スラリーの土中施用 …… 40ページ
- ③ 農薬使用量の削減 …… 41ページ
- ④ 草地のピンポイント更新技術の活用 …… 44ページ

< 基本 1 > 放牧の実施

< 基本 1 > 放牧の実施

<<対象牛>>
ア) 酪農経営の場合 (①又は②のいずれか)
①経産牛 (満 2 7 か月齢以上の牛) 9 0 日/年・頭
②後継牛 (満 7 ～ 1 8 か月齢の牛) 9 0 日/年・頭
イ) 肉用牛等経営 (乳用育成牛経営を含む) の場合
満 7 か月齢以上の牛 1 2 0 日/年・頭

(1) 放牧対象牛の種類 必須 ⓘ
選択してください
乳用経産牛
乳用後継牛
満 7 か月齢以上の牛

※放牧計画を作成するにあたり、自身で把握している頭数を記載。ただし、放牧対象牛数の確定値は、牛個体識別情報に基づき審査結果とともに通知されるため、審査結果通知を受領したら確定頭数を確認すること。

(1) 放牧対象牛の種類 必須 ⓘ
選択してください

(2) 1頭当たり年間放牧日数 必須 ⓘ

日/年・頭

(3) 放牧対象牛の頭数 (申告) ⓘ
自動計算 (ア) + (イ) - (ウ) 頭

算出

ア) 4月1日時点の (1) の在籍頭数 必須 ⓘ

×

 頭

イ) 4月1日時点の預託頭数 (牛を預けている場合)
頭

ウ) 4月1日時点の受託頭数 (牛を預かっている場合)
頭

(4) 預託先 (預託の場合)

(6) 確認書類の保管 必須
☐

預託で放牧に取り組む場合に頭数を入力

申請者が他の経営者Aから牛を預かっており、その経営者Aが預託で放牧の取組を申請する場合は、預かった牛は申請者の放牧対象牛から除外されます。該当する牛がいる場合は、頭数を入力。

放牧頭数、放牧日数、預託契約 (頭数、期間、預託料) 等の取組内容が確認できる、作業日誌、契約書等の資料 (電子データも可) が必要です。準備できるか (保管しているか) 確認の上、チェックを入れてください。

31

入力例（放牧）

<基本1> 放牧の実施

<<対象牛>>

ア) 酪農経営の場合（①又は②のいずれか）

①経産牛（満27か月齢以上の牛）90日/年・頭

②後継牛（満7～18か月齢の牛）90日/年・頭

イ) 肉用牛等経営（乳用育成牛経営を含む）の場合

満7か月齢以上の牛120日/年・頭

(1) 放牧対象牛の種類 必須 ⓘ

乳用経産牛

(2) 1頭当たり年間放牧日数 必須 ⓘ

90 日/年・頭

この例では、
 $35 \text{ 頭} = 10 + 30 - 5$

(3) 放牧対象牛の頭数（申告） ⓘ

35 頭

ア) 4月1日時点の（1）の在籍頭数 必須 ⓘ

10 頭

イ) 4月1日時点の預託頭数（牛を預けている場合）

30 頭

ウ) 4月1日時点の受託頭数（牛を預かっている場合）

5 頭

(4) 預託先（預託の場合）

〇〇牧場

預託契約書と照合できる名称を入力

(6) 確認書類の保管 必須



放牧頭数、放牧日数、預託契約（頭数、期間、預託料）等の取組内容が確認できる、作業日誌、契約書等の資料（電子データも可）が必要です。準備できるか（保管しているか）確認の上、チェックを入れてください。

<基本2>不耕起栽培

<基本2>不耕起栽培

<単年生飼料作物の場合>

自己所有地の延べ作付面積の5割以上で不耕起栽培を行う必要があります。

<永年生飼料作物の場合>

自己所有地の作付地のうち、1割以上を簡易更新する必要があります。

2作目も含む

ただし、自己所有地の作付延べ面積のうち、単年生飼料作物又は永年生飼料作物のどちらかの作付割合が8割を越える場合は、8割を越える飼料作物についてのみ取組を実施することが可能です。

(1) 作付割合を算出

単年生飼料作物及び永年生飼料作物の作付面積を記入すると自動でそれぞれの作付割合が表示されますので、作付割合を確認してください。

単年生飼料作物の作付面積（アール）

 アール
それぞれの
作付け面積
を入力

単年生飼料作物の作付割合（％）

 ※1 自動計算 %

永年生飼料作物の作付面積（アール）

 アール

永年生飼料作物の作付割合（％）

 ※2 自動計算 %
(2) 取組対象の選択 必須

- ☐ 単年生飼料作物の作付割合が80％以上→（ア）単年生飼料作物で取り組む
- ☐ 永年生飼料作物の作付割合が80％以上→（イ）永年生飼料作物で取り組む
- ☐ どちらも80％未満→（ア）単年生及び（イ）永年生飼料作物の両方で取り組む

自動で計算される作付割合を元に、
取組み対象を選択する

※1 単年生飼料作物の作付面積 ÷ 自己所有地の飼料作物作付延べ面積 × 100

※2 永年生飼料作物の作付面積 ÷ 自己所有地の飼料作物作付延べ面積 × 100

続く

(3) 選択した取組対象の飼料作物の実施計画

(ア) 単年生飼料作物

該当しない場合は、「0」を入力して下さい

「0」がないとエラー
となるため注意

不耕起栽培の実施面積（アール） **必須** 

アール

不耕起栽培の実施割合(%)

※3 %

(イ) 永年生飼料作物

簡易更新の実施面積（アール） **必須** 

アール

簡易更新の実施割合（%）

※4 %

(4) 確認書類の保管 **必須**

☐

飼料作物の種類、不耕起栽培や簡易更新を行った作付地等の取組内容が確認できる、作業日誌、種子等の購入記録、写真等の資料（電子データも可）が必要です。
準備できるか（保管しているか）確認の上、チェックを入れてください。

※3 不耕起栽培の実施面積 ÷ 単年生飼料作物の作付面積 × 100

※4 簡易更新の実施面積 ÷ 永年生飼料作物の作付面積 × 100

入力例 1 (不耕起栽培)

(1) 作付割合を算出

単年生飼料作物及び永年生飼料作物の作付面積を記入すると自動でそれぞれの作付割合が表示されますので、作付割合を確認してください。

単年生飼料作物の作付面積 (アール) ⓘ

380 アール

単年生飼料作物の作付割合 (%) ⓘ

24 %

永年生飼料作物の作付面積 (アール) ⓘ

1200 アール

永年生飼料作物の作付割合 (%) ⓘ

75 %

(2) 取組対象の選択 必須

- ☐ 単年生飼料作物の作付割合が80%以上→ (ア) 単年生飼料作物で取り組む
- ☐ 永年生飼料作物の作付割合が80%以上→ (イ) 永年生飼料作物で取り組む
- ☒ どちらも80%未満→ (ア) 単年生及び (イ) 永年生飼料作物の両方で行く

(3) 選択した取組対象の飼料作物の実施計画

(ア) 単年生飼料作物

不耕起栽培の実施面積 (アール) 必須 ⓘ

200 アール

不耕起栽培の実施割合 (%)

52 %

50%以上

(イ) 永年生飼料作物

簡易更新の実施面積 (アール) 必須 ⓘ

200 アール

簡易更新の実施割合 (%)

16 %

10%以上

入力例 2 (不耕起栽培)

(1) 作付割合を算出

単年生飼料作物及び永年生飼料作物の作付面積を記入すると自動でそれぞれの作付割合が表示されますので、作付割合を確認してください。

単年生飼料作物の作付面積 (アール) ⓘ

300 アール

単年生飼料作物の作付割合 (%) ⓘ

18 %

永年生飼料作物の作付面積 (アール) ⓘ

1280 アール

永年生飼料作物の作付割合 (%) ⓘ

81 %

(2) 取組対象の選択 必須

- ☐ 単年生飼料作物の作付割合が80%以上→(ア) 単年生飼料作物で取り組む
- ☒ 永年生飼料作物の作付割合が80%以上→(イ) 永年生飼料作物で取り組む
- ☐ どちらも80%未満→(ア) 単年生及び(イ) 永年生飼料作物の両方で取り組む

(3) 選択した取組対象の飼料作物の実施計画

(ア) 単年生飼料作物

不耕起栽培の実施面積 (アール) 必須 ⓘ

0 アール

不耕起栽培の実施割合(%)

0 %

(イ) 永年生飼料作物

簡易更新の実施面積 (アール) 必須 ⓘ

180 アール

簡易更新の実施割合 (%)

14 %

10%以上

<基本3> 消化液の利用

入力例（消化液）

<基本3> 消化液の利用

自己所有地等の飼料作付地の5割以上で実施する必要があります。

消化液の利用面積を記入すると自動で右側に割合が算出されますので、5割以上（50%以上）となることを確認してください。

(1) 実施計画

消化液の利用面積（アール） **必須**

800 アール

消化液の利用面積割合（%） ⓘ

50 %

50%以上

(2) 消化液の分析の実施 **必須** ⓘ

例：自己所有地等の面積が1.460アールの場合

(3) 確認書類の保管 **必須**

消化液を利用した飼料作付地、消化液の入手先、消化液の分析結果等の取組内容を確認できる作業日誌、契約書、写真等の資料（電子データも可）が必要です。準備できるか（保管しているか）確認の上、チェックを入れてください。

※ 消化液の面積 ÷ 自己所有地等の面積 × 100

< 基本 4 > 化学肥料の削減

入力例（化学肥料）

< 基本 4 > 化学肥料の削減

作付情報を元に牧草及びデントコーン等の作付延べ面積を入力

(1) 取組対象となる飼料作物の確認

自己所有地等の牧草及びデントコーン等の作付面積を記入してください。
自動で算出される牧草及びデントコーン等の作付割合を確認の上(2)に進んでください。

自動で作付割合が表示される

牧草の作付延べ面積（アール） 必須 ⓘ

1200 アール

2作目含む

デントコーン等の作付延べ面積（アール） 必須 ⓘ

380 アール

牧草の作付割合（%） ⓘ

※1 75 %

デントコーン等の作付面積割合（%） ⓘ

※2 24 %

(2) 取組対象の選択 必須

☐ 牧草の作付割合が8割以上→(ア) 牧草の作付地で取り組む☒ デントコーン等の作付割合が2割以上→(イ) デントコーン等の作付地で取り組む

例：デントコーン等の作付け割合が20%以上

※1 牧草の作付け延べ面積÷自己所有地の作付延べ面積×100

※2 デントコーン等の作付け延べ面積÷自己所有地の作付延べ面積×100


 続く

選択していない飼料作物は入力不要

(3) 選択した取組対象の実施計画

(ア) 牧草作付地での実践計画

- 自己所有地等の作付延べ面積の8割以上が牧草の場合は、牧草作付地で、化学肥料を慣行基準の3割以上削減する必要があります。ただし、草地更新の際には化学肥料を使用することができます
- 基準として用いた慣行基準の名称及び削減した割合(%)を記載してください。
- 複数の化学肥料を使用している場合は、一番低い削減割合を記載してください。

化学肥料の削減割合(%) (牧草) **必須** ⓘ

慣行基準の名称・策定組織名等(牧草) **必須** ⓘ

%

例：デントコーンを選択した場合

(イ) デントコーン等作付地での実施計画

- 自己所有地等の作付延べ面積の2割以上がデントコーン等の場合は、デントコーン等の作付地において化学肥料を慣行基準の3割以上削減する必要があります。
- 基準として用いた慣行基準の名称及び削減した割合(%)を記載してください。
- 複数の化学肥料を使用している場合は、平均又は一番低い削減割合を記載してください。

化学肥料の削減割合(%) (デントコーン等) **必須** ⓘ

慣行基準の名称・策定組織名等(デントコーン等) **必須** ⓘ

35 %

〇〇県施肥基準

(4) 確認書類の保管 **必須**



慣行基準、施肥量、肥料の削減割合、肥料の購入量等が確認できる作業記録・日誌、写真等の資料(電子データも可)が必要です。準備できるか(保管しているか)確認の上、チェックを入れてください。

30%以上

何を基準としたか
分かるように明記

◆◆これ以降は、特認取組です。肉用牛経営者の方及び特認取組を選択していない酪農経営者は、実施計画(Step3)へ進んでください◆◆



これ以降は、特任取組です。肉用経営者の方及び特任取組を選択していない酪農経営者の方は、実施計画（Step3）45ページへ進む。

◆◆これ以降は、特認取組です。肉用牛経営者の方及び特認取組を選択していない酪農経営者は、実施計画（Step3）へ進んでください◆◆

特認取組（酪農のみ）

<特認1> 国産副産物の利用